

来賓挨拶

上越市収入役

伊藤 保

ごめんください。今ほどご紹介いただきました上越市収入役の伊藤と申します。お招きいただきました木浦市長ですが、今日は市の主催事業がいくつかはいつおりましてどうしても日程をとることが出来ず、代わりに伺わせていただきました。せつかくの機会ですので、一言ご挨拶させていただきます。

今日はふるさと上越ネットワーク総会開催誠におめでとうございます。そして今程ご挨拶にもありましたようにいろいろ毎年活発な事業をされていることに対して頭の下がる思いをしております。この総会も例年この時期に行われるわけですが昨年の総会から一年経つわけでありす。皆様方におかれましてはいろいろの出来事があったことでしょうか。私どももいろいろのことがありました。昨年の

十月には中越大震災では大きな被害がありました。上越におきましては幸いなことに何回か大きなゆれを感じましたがそのまま終息いたしました。皆様方のご実家やご親戚の安全を確認されるまで気をもまれたことと思っております。テレビ

であるいは新聞で報道されたように大きな被害を被られました旧山古志村であります。これは最近長岡市と合併いたしました。この山古志村は住んでいた家が壊れ、耕していた農地が流れる、土木の専門家もまだまだ危険な状況で全員帰れと呼びかけるのは如何なものかと危惧しております。こうした状況にありましても山古志の皆さんは、村へ帰るんだという強い一念のもとに今復興に励んでおられます。そんなことでふるさとをそこ

な気持ちで後押ししたことでしょう。今ほど会長さんもふれられましたが、四月の観桜会にお越しいただきました。その頃はまだ寒い日が続いておりまして開花もせずつばみのままだったようですが郷土料理を味わっていただき幼馴染みと楽しい時間を過ごされたと聞いております。私どもはいつお帰りになられても暖かくお迎えできるように心がけています。でございます。

（案内のように今年一月一日二〇〇五年の幕開けをもちまして全国最多の枠組みであります十四市町村が合併いたしました。新しい上越市が誕生いたしました。この記念式典を四月にとり行なったわけですが、インターネット会員の皆さんからお越しいただいたということであらためてお礼申し上げます。

今、誰もがばら色の夢を描けるような時代ではありませんが、皆様方の力添えをいたたくなかで住民本位の力強いまちづくりを実現できればと願っております。

新しいまちの将来像に掲げました今日お手元に配布してある資料にもありますように、「海に山に大地になりわいと文化あふれる共生都市上越」の実現を目指しまして職員一堂よりしっかりと意識をもって取り組んでいるところであります。いずれにいたしましても皆様方にとりま

しての心よりどころでありますふるさと上越であり続けるために私ども一所懸命ががんばります。

最後になりましたが、このふるさと上越ネットワークのますますのご発展と本日お集まりの皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げまして挨拶とさせていただきます。

本日はたいへんありがとうございました。

